OceanBridge MAGAZINE

Vol.26
2019 Autumn

つかえるITを、世界から。
Useful IT from all over the world.

OceanBridgeTopics .....p02－03
ヨーロッパと日本の架け橋をめざして
日欧産業協力センター様 ご紹介

Brava 製品情報 p11
情報公開ポータルソリューション Astack
実装予定の新機能ご紹介

NXPowerLite 製品情報 .....p12－13
ビッグデータ時代到来！
予想以上に増え続けるデータ量に困っていませんか？

ISL Online 製品情報 p08
今、企業が注目する「働き方改革」
テレワークで何をする？

www.oceanbridge.jp
株式会社オーシャンブリッジ

ヨーロッパと日本の架け橋をめざして

世界には日本では知られていない魅力的なソフトウェアやITサービスが数多くあります。
オーシャンブリッジは「使えるITを、世界から。」をモットーに、創業時から誰かに紹介したくなるようなユニークで便利なITツールを独自の視点で発掘し、日本のお客様に分かりやすく使える形でお届けすることで日本の産業に貢献することを第一の使命としてきました。近年ではEPA(経済連携協定)などを背景に、とりわけ日本とヨーロッパのビジネスの距離がこれまで以上の速さで近づきつつあることを実感しています。

株式会社オーシャンブリッジ
代表取締役社長
中田 明

日欧産業協力センター
EEN Japan, Space.Japan,
GNSS.Asia チームリーダー
ファブリツィオ・ムーラ 様

日欧産業協力センター様ご紹介

日欧産業協力センター(EU-Japan Centre for Industrial Cooperation)様は、経済産業省と欧州委員会によって共同設立された非営利団体です。日欧の産業協力を担う機関として1987年に設立され、今年で設立32年を迎えられます。日欧産業協力センター様は、日本に関心のあるヨーロッパのビジネスパーソンを対象とした研修事業や対日ミッション、日EU政策セミナーなど数多くの事業を実地し、日本とヨーロッパの経済関係の緊密化と産業協力の推進に尽力されています。**海外のテクノロジーと日本市場をつなぐ「架け橋」**という同じ志を有する頼もしい存在です。

日欧産業協力センター様の事業概要

日欧企業支援事業

- **欧州発公的ビジネスマッチング "エンタープライズヨーロッパネットワーク(EEN)" 日本窓口**
  - 欧州企業・クラスター対日ミッション
- **トレーニングプログラム**
  - 理工系学生の起業研修事業(ヴルカヌス)

政府関連事業

- **シンクタンクとしての活動**
  - 日・EUビジネス・ラウンドテーブル
  - 日欧特別研究員制度(ミネルヴァ・フェローシップ)
  - セミナー

研究開発および イノベーションにおける 日欧協力の促進

- **Horizon2020**
- **ヨーロッパの衛星測位システム(GNSS)計画の国際化**
- **クラスター情報サポート**

オーシャンブリッジは、欧州ではイギリス、スロベニア、オランダ製品の取り扱い実績がございます。これまでに蓄積したノウハウや経験をいかし、今後も日欧産業協力センター様と協力しながら日欧の発展に貢献してまいります。
ヨーロッパの市場や企業に興味を持たれている方、ぜひお気軽にお問合せください。

来たるIoT時代！世界中で研究開発・関連ビジネスが拡大中

総務省報告（平成30年度情報通信白書）によれば、近年のAI、IoT化の推進により世界的にデータ流通は増大しており、Cisco報告では2017年から2020年にかけて約1.9倍、2020年には1ヶ月あたり228エクサバイトにも達すると予測されています。パソコンやスマホ、家電、自動車、ビルや工場など、世界中の様々なモノがインターネットにつながるIoT時代が到来しつつあります。

直近イベントのお知らせ

IT、IoT 等総合技術産業に特化したミッションを開催！

組込み総合技術展＆IoT総合技術　ET&IoT Technology2019
2019年11月20日(水)10:00 ～ 11月22日(金)17:00
来場事前登録あり（無料）
会場：パシフィコ横浜
詳細：http://www.jasa.or.jp/expo/

日欧産業協力センターの数ある事業のうちのひとつである欧州発公的ビジネスマッチングサービス "エンタープライズヨーロッパネットワーク(EEN)"では11月19日から22日にかけてIT、IoT等総合技術産業に特化したミッションを開催いたします。このミッションにはIT、IoT、エッジコンピューティングなどの業界から日本市場に関心のある8社がヨーロッパから来日し、横浜で開催予定の「ET&IoT Technology 2019」にて日欧産業協力センターと共同出展（ブースNo. B-46）いたします。

ミッション参加企業様のご紹介

来たるIoT時代に向け、グローバルな視点でどのようにビジネスを取り組んでいくべきか、ヨーロッパの最先端でご活躍中の企業様と情報を交換し合える貴重な機会となりますので、ぜひふるってご参加ください。

本件に関するお問合せ先

日欧産業協力センター EENジャパン（担当：グラルキ、小澤）
メールアドレス：info-jp@een-japan.eu
電話番号：03-6408-0281

ABIX GmbH（オーストリア）
www.a-bix.com

組込みシステム、IoT市場向けのソフトウェアツールソリューション（オーダーメイド型ソフトウェア開発ツール）を提供されている企業様です。

IOTEROP（フランス）
www.ioterop.com

IoT対応のための相互運用、セキュリティ、デバイス管理のソフトウェアソリューションなどを提供されている企業様です。

AceProx Identifikationssysteme GmbH（ドイツ）www.aceprox.de

システムインテグレータや機器メーカー向けのあらゆる目的に対応したRFIDリーダとRFIDタグの製造および販売をされている企業様です。

LeanXcale（スペイン）
https://leanxcale.com

特許取得済のアルゴリズムIguazuなど、独自の技術で高負荷や大スケールに対応したHTAPデータベースを提供されている企業様です。

Adant S.r..l（イタリア）
www.adant.com

適応的な可変アンテナパターンを備えたスマートアンテナシステムをハードとソフトの組み合わせで実現、市場で実証済の製品を提供する業界唯一のメーカー様です。

Memsource a.s.（チェコ）
www.memsource.com

400超の言語、30超の機械翻訳エンジンに対応したプラットフォームを提供。国際企業が行う翻訳業務の効率化をサポートされている企業様です。

Extra Red（イタリア）
https://www.extrasys.it/en/red/industry-4-0

ITおよびOT分野をターゲットとしたエッジオートメーションを可能にするハイブリッドクラウドを筆頭にIoT、インダストリー4.0、スマートデータ分析、AIに特化したイタリア企業様です。

Video Systems Srl（イタリア）
www.videosystems.it/en/

人口視覚やAIの最先端技術を設計・実装。あらゆる工業部門で、高性能な品質管理や行程管理システムを提案されている企業様です。

Useful IT from all over the world.

つかえるITを、世界から。

海外には、日本でまだ知られていないソフトウェアや IT サービスが数多くあります。
オーシャンブリッジはその中からお客様に喜ばれる本当に便利でユニークな製品を見つけ出し、
日本のお客様に最適なかたちでお届けします。
海外のテクノロジーと日本市場をつなぐ「架け橋」として、日本の産業に貢献していきます。

日本市場における豊富な実績と強固な事業基盤

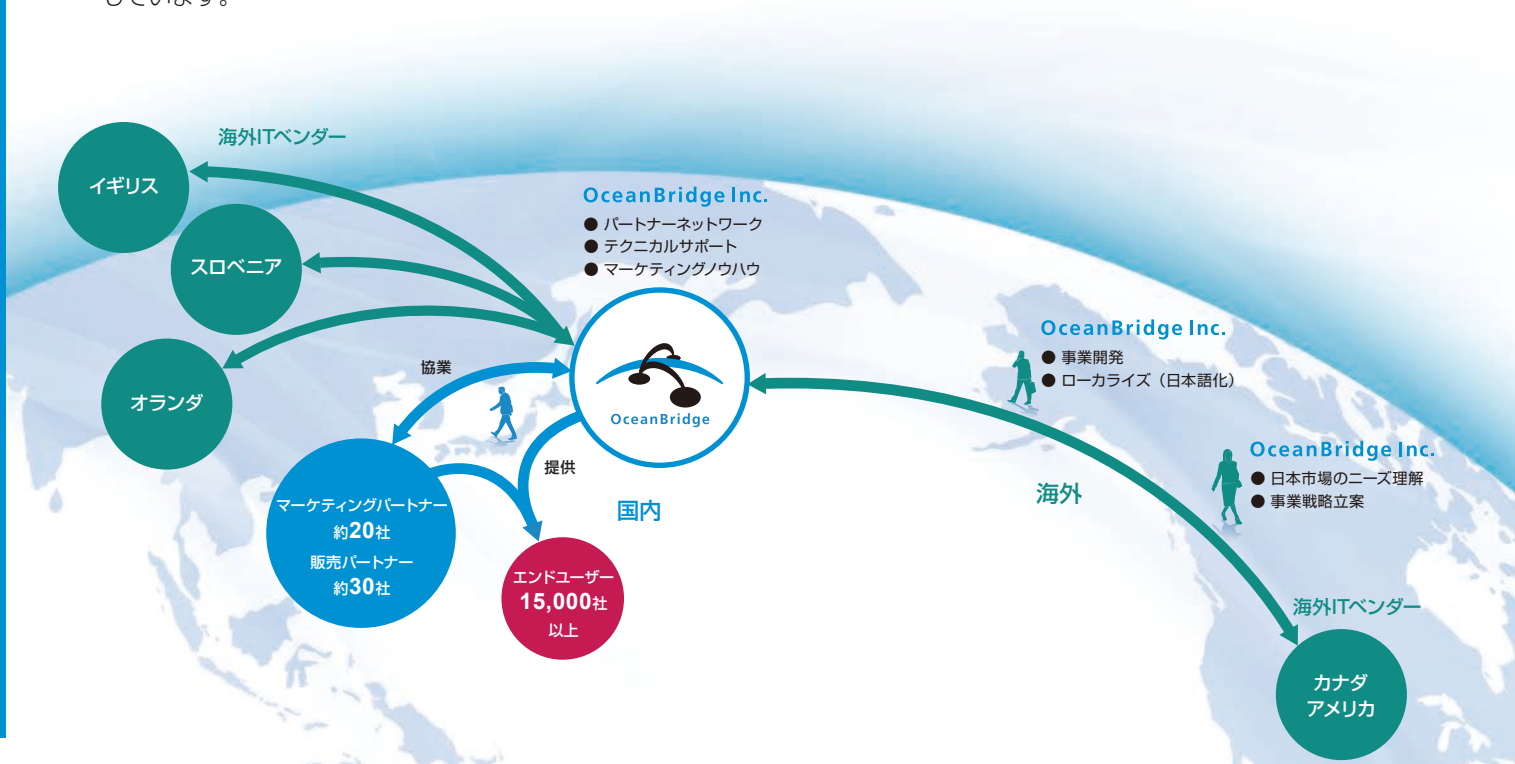
これまで米国製、英国製、スロベニア製、オランダ製を中心に、サーバーソフトウェア、デスクトップソフトウェア、クラウドサービスなどを数多く立ち上げてきました。
これらソフトウェアや IT サービスを、50 社を超える国内パートナー企業との販売・技術・マーケティング面でのアライアンスを通じ、大手企業を中心とする数万社のエンドユーザー企業に対して販売し、サポートを提供しています。
こうした豊富な実績と強固な事業基盤を活かし、今後も続々と新しい IT ツールを海外から発掘し、日本市場に提供していきます。

オーシャンブリッジのバリュー

海外のテクノロジーと日本の顧客ニーズを結び付ける最適なシナリオを構築できるのが、オーシャンブリッジのバリューです。
海外の IT ベンダーに対しては、テクノロジーと日本市場を最短距離で結び付ける、事業戦略・マーケティング戦略・販売戦略などの事業展開シナリオと、広範なパートナー＆顧客ネットワークにより、スピーディな事業立ち上げ・収益拡大を実現します。
国内のパートナー企業に対しては、システム連携によるソリューション構築や共同マーケティングなどを通じた、海外の最新テクノロジーと自社ビジネスを結び付けるための協業シナリオにより、新たなビジネスチャンスをもたらします。
国内のエンドユーザー企業に対しては、海外発の最新ソリューションにより業務課題を解決し、投資対効果をあげるために、ニーズに合わせた活用提案や、ケーススタディなどの様々な活用シナリオを提供します。

ビジネスモデル

海外製のソフトウェアや IT サービスを発掘・ローカライズ（日本語化）し、日本市場に合った形で国内パートナー企業とのアライアンスを通じて、幅広くエンドユーザーに販売しています。製品選定の基準は、私たち自身が1 ユーザー、1 ビジネスパーソンの視点で「これは便利！」「ぜひ使いたい！」と心から思えるかどうか。
そうした本当に“つかえる”IT ツールを、幅広いパートナーネットワークと安心のサポート体制を通じて、日本市場に提供しています。



オーシャンブリッジの "つかえる" ソフトウェア&サービス

主要海外 IT ベンダーと主な取り扱い製品

ワンタイム+常駐接続で使えるリモートコントロール

islonline

XLAB NOT IDLE

離れた場所の PC 同士で画面共有を行う「ワンタイム接続」、遠隔地にあるサーバーや出先で iPhone や iPad などから社内の PC に接続可能な「常駐接続」、複数のユーザー間で画面共有やチャットが可能な「Web 会議」を 1 つのライセンスで利用できるリモートコントロールツールです。セキュリティポリシーに合わせてオンプレミス、プライベートクラウド、パブリッククラウドの 3 つのライセンスを選択できます。

データ圧縮ソフト

NXPowerLite™

neuxpower MAKING FILES SMARTER™

容量の大きい Microsoft Office、JPEG、PDF ファイルなどをファイル形式はそのままに、最大 50 分の 1 に圧縮するソフトウェアです。用途に合わせてデスクトップエディション、ファイルサーバーエディション、ソフトウェア開発キット(SDK)で展開しています。

高速・多機能ビューア

BRAVA!®
BLAZON®

OPENTEXT™

AO 大判長尺の TIFF や HPGL など様々な形式のファイルを高速表示し、スムーズな操作性と業務効率化に特化した機能が備わっているビューアです。Brava Desktop、Brava サーバー連携版のエディションで展開しています。Blazon はあらゆるフォーマットを自動変換するマルチフォーマットコンバータです。

画面共有ツール

Surfly

Surfly

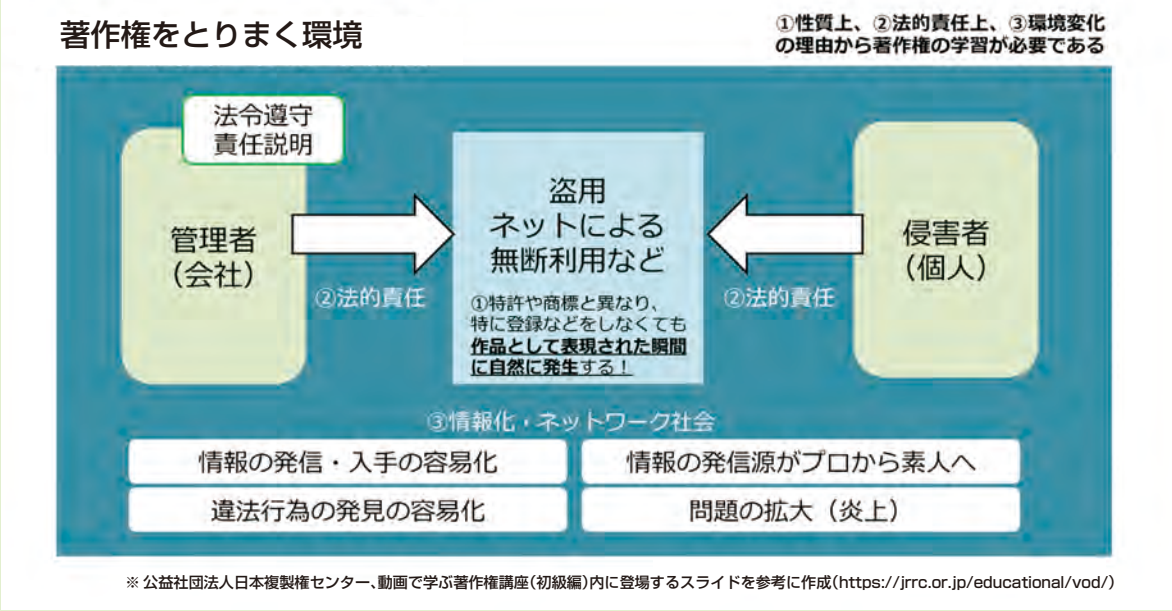
簡単に安心してすぐにつながる Web 画面共有ツールです。ソフトウェアのダウンロードやインストールが一切不要で、ブラウザさえあればいつでも手軽に対象の Web ページのみを画面共有できます。テキストチャットの他にビデオチャットも標準で搭載されており、双方向での円滑なコミュニケーションが可能です。

オーシャンブリッジの活動

オーシャンブリッジでは、社員が行動する際に意識すべき心構えとして５つの「OB Hearts」（やり抜く意思、主体性、向上心、好奇心、チームワーク）を掲げています。このOB Heartsを浸透させるため、社内ではさまざまな活動が行われているほか、社員の知識やスキル向上のために勉強会を実施することがあります。
今回は、近年よく耳にする「著作権」について、８月に社内で勉強会を実施しました。内容を一部ご紹介いたします。

著作権を学ぶ理由は？

コンピューターをはじめとする急速なIT技術の向上、スマホなどの多種多様なデバイスの普及により、大勢の人が手軽に自由にデジタルデータをやりとりする時代になりました。
年齢・性別・国境を問わず、さまざまな情報をリアルタイムで発信、あるいはダウンロードして得られるようになったのは素晴らしいことですが、その一方で、大量の情報が氾濫するということは、それだけ企業の評判・風評リスクが増大するということを意味しています。
知的財産権の一つである「著作権」は、他人の創作物に対する義務や制限を規定すると同時に、自身の創作物を守るものでもあります。社員一人一人が基本的な知識を得て、日頃から業務を通じて適切な対応ができるようになる必要があります。



※公益社団法人日本複製権センター、動画で学ぶ著作権講座（初級編）内に登場するスライドを参考に作成（https://jrrc.or.jp/educational/vod/）

著作物とは？

思想又は感情を創作的に表現したもので、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの。

※ 単なるアイディア、イデオロギー、ノウハウ、思い付きも、目的に沿うよう工夫して表現されたものであれば、著作物に該当します。

「著作物」を思い浮かべてみよう

本、冊子、ちらし、印刷物、写真、イラスト、画像、美術、音楽、映画、DVD、ビデオ、動画、地図、辞書、プログラム、データベース※、建物、設計図、模型、ダンス、振り付け

※ 補足：データベースは思想・感情の創作性表現が弱く、"データベースの著作物（著作権法十二条の二）"として認められるには論文・数値・図形その他の集合物でそれらの情報をコンピューターにより検索可能なように「体系的に構成」したものである必要があるとされています。

「著作者」「著作権者」とは？

基本	著作物を創作した人 ＝「著作者」であり「著作権者」となる
例外	法人(会社)が職務上作成したもので、法人(会社)などの著作名義で公表する著作物は「職務著作」となる ● 法人(会社)＝「著作者」で「著作権者」 ● 従業員＝なし

勉強会では、著作物を創作した人が「著作者」かつ「著作権者」になるという基本理解とともに、会社が職務上作成し、会社などの著作名義で公表する著作物は「職務著作」となり、著作権は会社に帰属するということを学習しました。

職務著作という考え方を初めて知りました。勉強になりました。

インターネットで画像を探すときは、もっと利用規約をちゃんと読もうと思いました。

著作権入門クイズ

勉強会では、著作権に関する入門クイズも実施しました。しっかりと知識として定着させるためには、繰り返し中心となるポイントを確認し、楽しみながら学習することが効果的だと感じました。

Q1. 著作権とは「自分の作品がどのように利用されるか」を決定できる権利のことである。

○ 著作権は、「他人の作品をどのように利用できるか」ではなく、自分が作った作品を、第三者が許諾なく勝手に使わないように求めることができる権利です。著作物を使う人のための権利ではなく、**著作者を守るための権利**ということをまず認識しておきましょう。

Q2. 「著作権」をとるには、国(役所)に登録申請しなければならない。

× 「著作権」は特許や商標と異なり、特に登録などを行わなくても**表現された瞬間に自然に発生**します。
知らなかったでは済まされない危険があることを認識しておきましょう。

Q3. 会社の研修や、非営利の目的なら著作物の複製(コピー)は例外的に許可されている。

× 著作物の複製(コピー)は、学校などの教育機関の授業の過程では例外的に認められていますが、**会社の場合は「引用」その他著作権の権利制限が認められている場合にのみ**、個別に無許可での著作物の複製が認められているにすぎません。

Q4. 業務上必要な知識を得るため、書籍をスキャンしてPDF化し、社内で共有した。

× PDFにする時点で著作権(複製権侵害)に抵触します。
書籍を自分でお金を出して買った場合であっても同じです。

オーシャンブリッジは社会の信頼にお応えするため、法令はもちろん倫理や道徳、社内規範をしっかりと遵守する企業コンプライアンスの実践に取り組んでおります。今後も自分たちの能力を活かし、成長し続けられるよう努力していきます。

islonline

ワンタイム＋常駐接続で使えるリモートコントロールツール

４つのライセンス体系

用途に応じて、４つのライセンスをご用意しております。

- パブリッククラウドライセンス
- プライベートクラウドライセンス
- オンプレミスライセンス
- OEMライセンス

詳細はWebページをご参照ください。

今、企業が注目する「働き方改革」～テレワークで何をする？～

ワークライフバランスの実現や人口減少時代における労働力人口の確保、地域の活性化などにも寄与する「働き方改革」を実現する切り札といわれる「テレワーク」。
総務省及び経済産業省では、東京オリンピックの開会式が予定されている７月24日を「テレワーク・デイ」とし、2017年から毎年企業等による全国一斉のテレワーク実施を呼びかける取り組みを行い、昨年度は1,682団体、延べ30万人以上が参加するという大きな広がりを見せています。
この流れを受け、現在弊社にもテレワークに関するお問合せが急増していますが、その多くが「どんなことができるか具体的なイメージが浮かばない」「色々試してみたいが、導入コストが高そうで手が出せない」といったお悩みを多く抱えています。
実際に「テレワーク」を導入して、どんなことができるのでしょうか？

ヘルプデスク

社外・自宅の離れた場所にあるパソコン同士で画面を共有！

ISL Light（ワンタイム接続）

リモートアクセス

出先のスマホやモバイルPCから、遠隔地にあるサーバーや社内のパソコンに接続！

ISL AlwaysOn（常駐接続）

Web会議

いつでも・どこでも気軽に会社の会議やセミナーに参加！複数人で資料や画面を共有！

ISL Groop（Web会議）

islonline は、オールインワンパッケージ！

ヘルプデスク　リモートアクセス　Web会議

の３つの製品が、１ライセンスですべてご利用いただけます。

ISL Onlineは、テレワークに興味があり、色々な「働き方」を試してから最適なツール選びたいが、導入コストが高そうで手が出せないといった企業様に役立つツールです。
購入に必要なライセンスは同時に利用する接続数分だけ。オペレーターの利用するパソコンやユーザー数に制限はなく、接続対象のPC数も無制限のため、コストを大幅に削減できます。

テレワークを成功させる鍵は、円滑な情報共有とコミュニケーション！
～Web会議をもっと活用しよう～

Web会議とは？

「Web会議」とは、遠く離れた拠点間で、複数の人がインターネットを通じて映像や音声を使ってやりとりを行うコミュニケーションツールです。従来のテレビ会議では、通常大型の専用機器や回線が必要であることから使用場所が限られていましたが、Web会議はインターネットとパソコンさえあれば場所を選ばずにすぐに開始できるため、ネットワークの高速化やデバイス機器の発展とともに、近年さまざまな場所で使用され、大きく普及するようになりました。

	Web会議	テレビ会議
会議の規模	個人・小規模な打合せから可能	大規模な打合せ
場所	インターネットのつながる場所ならどこでも（会社・自宅・外出先など）	専用設備のある部屋（会議室など）
機器	PC・カメラ・マイク・スマホなど	専用ハード、大画面ディスプレイなど
導入・運用コスト	低	高
画面の共有	PC画面、アプリ共有、画面書き込み、遠隔操作、データ送信などが可能	PC画面の表示が可能
主な用途	映像・音声のやり取りに加え、リアルタイムでの資料共有が可能	映像・音声のやり取り

Web会議がもたらすメリット

Web会議は移動時間やコスト削減につながるだけでなく、カメラを通して互いに顔を見ながら話ができるメリットがあります。
Web会議はテレワーク以外にも、自社製品の遠隔デモンストレーションやサービスを向上させるツールとしても多いに活用が期待されています。

- 移動・出張コストの削減
- 場所を選ばない円滑な情報共有
- 互いに顔が見えるコミュニケーション
- 自社製品の販売促進・サービス向上

ISL Groopで、簡単・セキュアにWeb会議を開始してみませんか？

ISL Onlineは、1ライセンスでISL Groop（Web会議）を含む、すべてのISL Online製品のご利用が可能です。
ISL Groopは、はじめてWeb会議を体験される方でも、すぐに簡単にセキュアにWeb会議を開始できます。

STEP1 → STEP2 → STEP3

オンラインページ

主催者

オンラインページにログインして、会議室を作成します。

オンラインページ

主催者

参加者に招待メールを送信します。

ISL Groop（Web会議）画面

参加者

メールを受信し、指定のURLにアクセスします。ISL Groopを起動して、会議に参加します。

製品の詳しい情報は、Webサイトをご覧ください。 ISL Online

BRAVA! for FileServer®

ファイルサーバーを Web ポータル化する文書共有ソリューション

Astack

Astackは、既存のファイルサーバーを活用し、低コストでユーザーがいつでも・どこでも・端末を選ぶことなく簡単に社内のファイルサーバーの文書データを検索・共有・閲覧できるようになることで、企業内の生産性の向上やペーパーレス化の推進に貢献する情報公開ポータルソリューションです。

フォルダツリーの構成を変えずにWebポータルを生成するファイルサーバー文書共有システム

Astackはファイルサーバーに保存されたOfficeファイルやPDF、CAD図面、画像ファイルなどをフォルダー構造を変えることなくそのままWebポータル用に変換します。Webポータル化した後は手軽にダウンロードできるほか、PDF形式での表示が可能です。

公開した文書は他のデータベースと同様に全文検索できるほか、Webポータル構築の定期的なスケジュール実行やファイルサーバーへのアクセスログの記録・参照などの機能も搭載しています。

高度なファイルビューアオプション(Brava)を併せてご利用いただくことで、ファイルの持ち出し制御などのセキュリティ対策やCAD図面ファイルの閲覧といったニーズにも対応できます。

Astackの主な特長

1. ファイルサーバーのWebポータル化
2. 簡単・高速な全文検索
3. 運用負担を軽減するスケジュール機能
4. アクセス情報の記録と集計
5. 選べる利用環境
6. シンプルで使いやすいインターフェイス

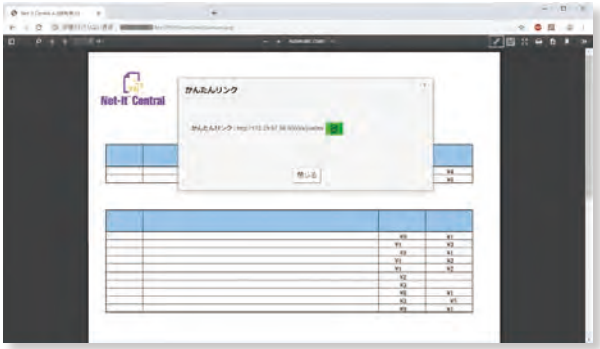
近日公開！

ますます便利で使いやすくなるAstack。
次回リリース予定のAstackの新バージョンでは、ユーザーの皆様の声にお応えして、ユーザービリティと利便性を向上させる新機能を搭載する予定です。
今号ではその一部をご紹介いたします。

1 QRコードの発行

ファイルごとに固有のQRコードを発行します。QRコードを読み取ると、すぐにビューアを起動してファイルの閲覧を開始できます。
（QRコードは右クリックメニュー、ビューア内のボタンの両方から発行できます）

2 かんたんリンク



Webサイト化したファイルのパス（URL）を短縮した、かんたんリンクを作成します。深い階層のファイルにも手軽にアクセス可能になります。
（かんたんリンクは右クリックメニュー、ビューア内のボタンの両方から発行できます）

3 サムネイル表示

ファイルのアイコンをサムネイルで表示します。中身を開かなくても、探しているファイルを簡単に見つけることが可能になります。
※ サムネイル表示は「PDF変換表示」オプションのご利用が必要です

無料遠隔デモンストレーション実施中

Brava製品は現在、弊社リモートツール（ISL Online）を使用して、オンラインで無料の製品説明を行っております。
インターネットに繋がるPCと電話さえご用意いただければ、どこからでも遠隔デモにご参加いただけます。

製品の詳しい情報は、Webサイトをご覧ください。　Brava ファイルサーバー

NXPowerLite™
ファイルサーバーエディション
データ圧縮ソフト

2つのライセンス体系

お客様のご利用環境に合わせて、2種類のライセンスをご用意しております。

- ファイルサーバーエディション ベーシック
- ファイルサーバーエディション ミニ

ご利用条件など、詳細はWebページをご参照ください。

膨らみ続けるファイルサーバー！
慌てて容量を増設しようとしていませんか？

スマホなどのデバイスが普及し、膨大なデジタルデータを複数人でリアルタイムに活用する時代になりました。予想以上に容量の肥大化が進むファイルサーバーの効率的な共有・活用は、もはやどの企業も避けられない必須課題となっています。

「サーバー容量の増設」と「ファイル圧縮ツールの導入」は、どちらも即効性のある解消方法ですが、どんな違いがあるのでしょうか？

サーバー容量の増設 VS ファイル圧縮ツールの導入

		サーバー容量の増設	ファイル圧縮ツールの導入
容量確保	導入初期	◎ サーバーを増設して容量を確保する	○ 肥大化したファイルを軽量化して容量を確保する
	導入後	× 新規保存されるファイル数やサイズは変わらないため、容量増加のスピードは変わらない	◎ 新規保存されるファイルサイズも軽量化できるため、容量の増加速度を抑えられる
リスク対策	バックアップ・リストア時間	× ファイルデータの容量増加により、バックアップ・リストア時間が長くなる	○ ファイル1個あたりの容量が軽量化されるため、バックアップ・リストア時間が短縮
	ファイル保持	○ 元の状態で保持される	○ 保存場所は変わらず、容量のみを圧縮できる
管理者負担	運用負荷	△ ファイルパス変更時にユーザーにパスを通知する必要があり、運用・保守の管理工数が増える	○ 圧縮するフォルダー、スケジュール、条件を決められるため、柔軟な運用が可能
ユーザー負担	作業負担	△ ファイルパス変更後は管理者に新しい保存先のパスを確認する必要がある	◎ ユーザー側での作業なし
導入後コスト	管理コスト	△ 増加	○ 削減
総合評価		△	○

サーバー容量の増設は、ファイル圧縮ツールの導入と同様に即効性がありますが、導入後の容量の**増加速度は変わりません**。また、バックアップ・リストア時間の長期化など、非常時の復旧対策に対するリスクや**運用・管理コストが高くなる**可能性があります。

容量の増設とは別に、恒久的に不要なファイルを保持しない「仕組み」作りが必要です！

「ファイル圧縮ソフト」NXPowerLiteの導入をオススメします！

NXPowerLite ファイルサーバーエディションは、ファイルサーバー内に保存されている重い**Officeファイル**（PowerPoint、Word、Excel）や **デジカメ写真**（JPEG）、**PDFファイル**をスケジュールに沿って**効果的に軽量化**し、ストレージの容量不足を解消します。また、**バックアップやウイルススキャン**にかかる**時間の短縮**、**ネットワーク負荷の軽減**、サーバーリプレース時の移行時間やコスト削減など、様々なメリットをもたらします。

「サーバー容量の増設」ではなく、「圧縮ツールの導入」を選んだお客様の事例をご紹介いたします。

クボタ環境サービス株式会社 様

For Earth, For Life Kubota | クボタ環境サービス株式会社

「9TBのファイルサーバーの更新を前倒しで行わなければならないほど**逼迫していたストレージ容量不足**を解消しました。そして、NXPowerLiteは**予測が難しいストレージ運用に欠かせない**ツールになると感じています。」

導入の決め手	導入効果・メリット
コスト、運用・管理の2面から、**ストレージ増設よりも費用対効果が高く**すぐに効果が出ると分かった。	メールサーバーの**トラフィックやメールデータの圧縮**にもつながった。
テスト運用を実施し、画像の劣化を感じずに画像データを圧縮できた。	バックアップが必要なデータ量の削減につながり、**バックアップコスト低減**の効果があった。

株式会社ノバレーゼ 様

NOVARESE

「ウエディング衣装・小物のコーディネート管理や**iPadカタログ**に使う写真を、**高画質を保ったまま**NXPowerLiteで圧縮しています。」

導入の決め手	導入効果・メリット
圧縮しても写真の**見た目が損なわれなかった**。	店頭で使うiPadカタログの写真が、**高画質のまま**瞬時に**ダウンロード可能**になり、お客様をお待たせしなくなった。
ユーザーに**負担がかからなかった**。	**サーバー増設よりコストが安く**、管理者やユーザーの**負担がなくなった**。

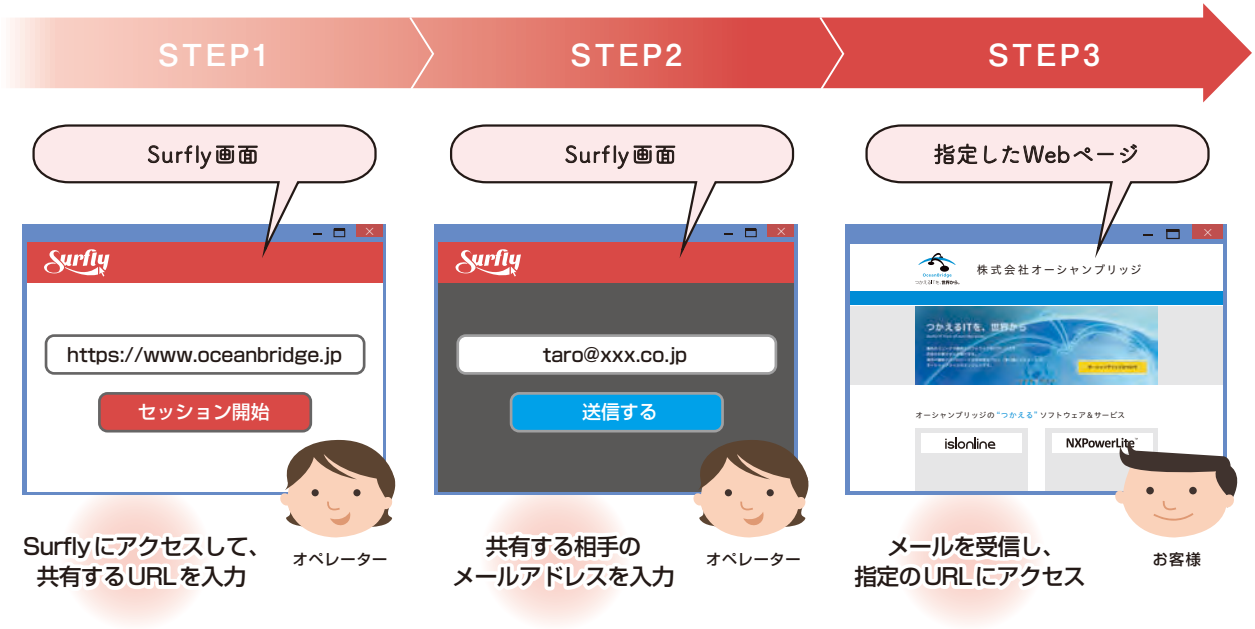
Web 画面共有ツール

Surflyとは

簡単に安心してすぐにつながるWeb画面共有ツールです。
ソフトウェアのダウンロードやインストールが一切不要で、ブラウザさえあればいつでも手軽に対象のWebページのみを共有できます。

操作はわずか3ステップのみ！

プラグイン、インストールが不要。
あっという間にWeb画面の共有を完了します。



※ 既存のWebサイトに埋め込むことで、お客様発信でWeb画面の共有を開始することもできます。

ご利用シーン

Surflyはさまざまなシーンでご利用いただけます。サポート対応時間を大幅に短縮し、顧客満足度の向上に貢献します。

- 銀行･保険などの顧客サポート
- 不動産業界での顧客とのコミュニケーション
- Webアプリの販売･サポート
- 士業向けの顧客サポート
- 予約サイトをみんなで相談
- OEM製品として活用

昨年７月に登場した、Web画面共有ツール「Surfly」。どんな機能があるの？どんな風に使えばいいの？という皆様の声にお応えし、今号からSurflyの機能をピックアップしてご紹介します！

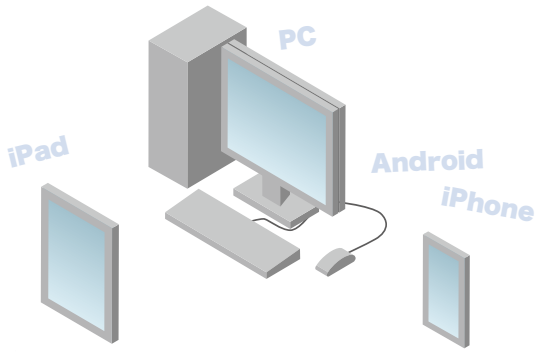
第３回　Webセッションの継続

インターネットでお買い物などをしている際に、cookie（クッキー）という言葉を目にしたことはございませんか。cookieとは、Webサイトを訪問したブラウザのデータを記録しておくための仕組みのことで、ログイン情報や買い物カートの中身の保持など、Webサイトのアクセスや操作を簡単で快適にするのに役立っています。最近のインターネットショッピングやバンキングのサービスの多くが、このcookieの仕組みを利用しています。

Web画面共有ツールがcookieを上手く扱えないと、会員専用ページなどで画面共有を始める際に、お客様に再ログインしてもらう必要が発生する場合がございます。また、決済方法が分からず、オペレーターにつないで画面を見てもらおうとしたら、「さっきまで買い物カートの中に入れていたはずの商品が消えていた」というのでは、お客様にとって大きなストレスになりかねません。

Surflyは「セッション継続ポイント」を設定することで、このような問題を解消できます。Webサーバーと管理者用のダッシュボード上で簡単な設定を行うだけで、ユーザー名やパスワードなどのログイン情報、買い物カートの中身など、必要な情報を記録したcookieをSurflyサーバーへ転送し、セッションへ引継ぎを行ってスムーズにお客様とのWeb画面共有を継続できます。

Surflyはマルチデバイスに対応しています



Surflyは以下の最新ブラウザでご利用いただけます。

Google Chrome　Microsoft Edge　Mozilla Firefox

Apple Safari　Internet Explorer11（※）

※ビデオチャットの利用にはプラグインが必要です

Surflyは14日間の無料体験版をご用意しております。
製品の詳細はWebページをご覧ください。

Surfly

編集後記

秋晴れが気持ちいい今日この頃。朝夕に涼しさを感じつつ、ふと散歩に出てみれば、深緑の苔（こけ）の絨毯（じゅうたん）と色鮮やかな紅葉のコントラストに目を奪われる季節がやってきました。

庭の日影の片隅、古い寺社の古木、湿った岸壁などにひっそりと生えている苔は、一見地味で目立たない存在ですが、江戸時代には竹などの芯に山苔を巻き、しのぶ草を束ねて作る「釣りしのぶ」が流行するなど、昔から苔は日本の詫び寂びを体現するものとして、静かに大事に愛され続けてきました。
最近は、植物の根を土で包み、丸いボールの形に固めて周囲に苔を貼りつける「苔玉」が、若い人の間でインテリアとして人気だそうです。海外でも「KOKEDAMA」の名前で盆栽と同様に高い評価を受けていると聞いています。苔はもはや脇役ではなく、堂々たるメインの主役の顔つきです。

身近にいながら実はあまり生体が知られていない苔ですが、調べたところ、苔にも一年を通じて変化があり、その多くの種類が新緑眩しい「春」の季節に芽を出すだけでなく、夏の暑さが和らぐこの「秋」の時期に、もう一度花（胞子体）を出して成長するそうです。苔は今のシーズンが一年で最も綺麗だと言う方も少なくないようで、枯葉散るイメージの強い秋の話としては意外な驚きでした。

早いもので今年もあと数か月。目立たないところでひっそりと、秋の間にもうひと踏ん張りして頑張る苔に負けてはいられません。今年こそは何かに挑戦しようと意気込んでいた方、振臂一呼（しんぴいっこ）して再チャレンジしてみませんか。令和はじめての秋を元気に過ごしましょう。

本誌は今後も製品の最新情報はもちろん、会社の取り組みなどのコンテンツを充実させながら、皆様のお手元へお届けいたします。
本誌を読んでのご感想・ご意見も是非お聞かせください。
次号もどうぞ、お楽しみに。

（編集：マーケティンググループ）

OceanBridge Magazine Online公開中！

OceanBridge Magazine や製品Web サイトではお伝えしきれない弊社製品に関する情報や、つかえる IT の活用ノウハウ、最新の話題関連などを発信しています。本誌「OceanBridge Magazine」のオンライン版としてご覧いただけます。

新着情報を
いつでもどこでも
「サクッと」スマホで
閲覧できます。

https://media.oceanbridge.jp/

ご感想・ご意見をお待ちしております

本誌をご覧いただいたご感想・ご意見をお聞かせください。
ご感想やご意見はこちらのQRコードからご投稿ください。 ☞

※ 読み取れない場合はこちらから▼
https://media.oceanbridge.jp/form/OBMenquete

OceanBridge
つかえるITを、世界から。

発行
株式会社オーシャンブリッジ
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-20-8 寿パークビル7F
Web:https://www.oceanbridge.jp/ Email:sales@oceanbridge.jp

・記載の社名または商品名等は、各社の商標または登録商標です。